

全ての人が幸せに生きるために、“感染症” に対する『正しい知識・情報』を

講

演

日本感染管理ネットワーク学会会長
山口県立大学看護栄養学部
講師 家入 裕子様

参観授業

講演の内容を踏まえ、
「感染症」、及び「人権」に
ついて考える授業を実施



保護者の皆さまはこの度の「コロナ禍（感染症）」について、お子様とどのようなお話をされていますか？

11月7日（土）に実施した今年度初の参観日は、子ども大人も一緒に向き合っていかなければならない「**感染症**」、及び「**人権**」について考える場として設定しました。そこで突然ですが、保護者の皆さまへ質問（問題）です。

Q1 日本は、これまで様々な感染症と闘ってきた歴史があります。では、

「感染症」が原因となって起きた次の2つの問題・事件については、どの程度ご存じですか？

- 「ハンセン病問題」
- 「薬害エイズ事件」

Q2 新型コロナウイルスは「3つの“感染症”」の顔をもっています。

ウイルスがもたらす第1の感染症は、
「病気そのもの」です。それでは、あとの2つ、
人から人へ感染するものは何でしょう？

第2の感染症「_____」

第3の感染症「_____」

Q3 第1の感染症を防ぐには、「三密対策」「手洗い・消毒」「咳エチケット」などがあります。では、第2、第3の感染症に振り回されないためには、私たちにはどのような「**力**」が必要でしょうか。

ヒント



「気づく力」

「_____力」

「_____力」

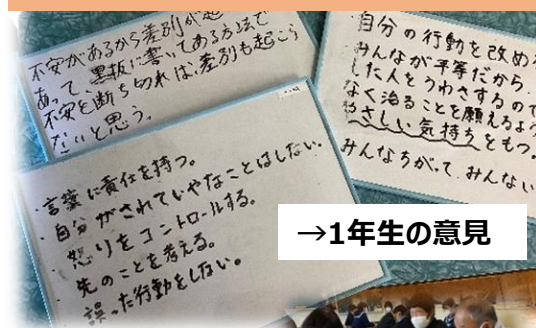
「感染症」への正しい理解

「参観日」を再開するにあたり、『今だからこそ大人と子どもが一緒に学べるべき課題』として、本テーマ（感染症と人権）を設定しました。

そこで、感染症対応のスペシャリストである家入先生をお招きし、『感染症と人権問題～過去の事例と新型コロナウイルス感染症から学ぶ～』と題してご講演いただきました。その講演内容を踏まえ、各学級（学活）では「感染症」と共に生きていくために必要なことは何か、様々な場面に遭遇したときに、人としてどのように行動すべきかを考え、全体で話し合いました。第三波の襲来も予想されている中で、本格的に時間を使って「考えた」、「全員で話し合った」事実は、必ず今後に生かされるものと確信しています。

★12月13日（日）に大和スポーツセンター（アリーナ）で家入先生のご講演があります！感染症と人権問題について学べる場です。ぜひご参加ください。（※学校で参加者登録を行います。詳細は案内チラシにて）

大人も子どもも“一緒に”に「人権」について考える



→1年生の意見

→2年生の授業では、地域の方もグループの話し合いに参加しました。



【生徒の感想より】

私は正直、コロナに対する「今」の意識は前よりも低くなっています。慣れてくると、その生活が当たり前だと思ってしまふからだと思います。

「感染症」はなりたくてなるものじゃないし、うつしたくてうつすものでもありません。そのことをきちんと理解して、つらい思いをしている人がいたら、少しでも支えてあげたいです。

私は、「自分も周りも支える力」という力をつけたいと思います。

この苦しい瞬間を乗り越えれば、未来は変わるかもしれない ～R2 浅江中ふるさと虹ヶ浜マラソン&駅伝大会～

11/15(日)



毎年恒例の「ふれあい元気マラソン大会」(コミセン主催)がコロナ禍の影響で中止となり、今年度のマラソン大会は急遽、本校生徒のみを対象に、虹ヶ浜海水浴場を舞台とした周回コースで開催しました。また、マラソンの部だけでなく、クラス対抗駅伝の部も設ける新たな試みを行いました。

11月とは思えないくらい暖かく、前日まで出ていた「強風注意報」が嘘のように、海は靄状態の絶好のマラソン日和の中、生徒たちは全力で砂浜を駆け抜けました。また一つ、ふるさと浅江を舞台に、「今年しかできない経験」、「自分自身の限界に挑戦する経験」を積むことができました。

マラソンの部	🏆 1位
1年女子の部	松本 綾音 (2組)
2年女子の部	大上 咲空 (4組)
3年女子の部	唐谷 里緒 (2組)
1年男子の部	國領 陽道 (2組)
2年男子の部	岡村 泰智 (4組)
3年男子の部	西田 唯斗 (3組)

クラス対抗駅伝の部	1区	2区	3区	4区	5区	6区
🏆 1位 2年1組	松本 壮太	北川 真規	吉岡 茉優	草壁 紗良	森田 花	山本 海光



(保護者の皆さまへ) 生徒たちへのご声援、駐車場指定などへのご協力、誠にありがとうございました。